

大学院教育協力

生理学研究所は、大学共同利用機関として、人体の生命活動の総合的な解明を究極の目標とし、分子から個体のレベルにわたり、人体等高等動物の機能の総合的な研究を行うことを目的としている。

本研究所は、これらに関連する分野における研究者との共同研究等を実施するとともに、研究者の養成に関しては、国、公、私立大学の要請に応じて、「特別研究学生」を

受け入れ、大学院における教育に協力を行ってきたが、近年における、研究所の研究活動への大学院学生の参画の重要性に鑑み、平成9年度からは当該大学院生を「特別共同利用研究員」として受け入れ、併せて研究指導を行い大学院教育の協力を行うこととした。

受け入れ対象は、生理学及び関連分野を専攻する大学院在学者で、受け入れ期間は原則として一年で、各大学の大学院から推薦された者について、審査委員会において審査ののち、所長が受け入れを決定する。

特別共同利用研究員

氏名	所属大学	研究科	専攻等	研究題目
吉沢 雄介	信州大学大学院	工学系研究科	応用生物科学 専攻	精子幹細胞を用いたノックアウトラット作成法の確立
江藤 圭	九州大学大学院	薬学府	医療薬科学	大脳皮質における慢性疼痛メカニズムの解明
岩室 宏一	東京大学大学院	医学系研究科	脳神経医学	運動に関しての大脳基底核の神経機構についての研究
浅川 晋宏	東京慈恵会医科大学 大学院	医学研究科	眼科学	視知覚の神経機構の研究
島 麻子	日本大学大学院	歯学研究科	生理学	侵害刺激受容 TRP チャネルの機能解析
望月 勉	山梨大学大学院	医学工学総合 研究教育部	先進医療科学	膀胱上皮細胞に発現する TRP チャネルの解析
藤野 祐介	大分大学大学院	医学系研究科	分子機能制御 医学	視床下部における生体エネルギー代謝調節機構
西川真一郎	熊本大学大学院	医学教育部	環境社会医学	非侵襲的脳機能計測を用いた小児の情動と認知・適応・学習機能の発達に関する機能的 MRI 研究
川端 二功	京都大学大学院	農学研究科	食品生物科学	感覚受容・細胞運動の分子機構の解明

※ 平成19年6月1日現在

STUDENTS FROM OTHER UNIVERSITIES

We are also cooperating with other graduate universities in Japan. Many graduate students in other graduate universities stay and study in NIPS for one or two years.